

GENKO

通信

シン・マイスター・ハイスクール事業
～地域創生への挑戦～

Hikone Technical High School

令和6年 9月 13日 No.1

令和6年度 1学期のまとめ

滋賀県立彦根工業高等学校 総務部工業課

〒522-0222 彦根市南川瀬町 1310

Tel 0749-28-2201(代)



本校は今年度から滋賀県指定事業シン・マイスター・ハイスクールとして事業に取り組むことになりました。前年度までの文部科学省指定のマイスター・ハイスクール事業からより発展できるように事業展開していきます。

4/10～『シン・マイスター・ハイスクール事業』ブラッシュアップ実習(2年)

於:各科実習棟

2年生を対象に、ブラッシュアップ実習がスタートしました。ブラッシュアップ実習とは、生徒のより学びたい気持ちをサポートするため高度技能の習得や資格取得を外部講師の指導により目指す選択実習です。



機械科 機械科ブラッシュアップ実習では高度な知識や技術の習得を目指し、産業人としての感性を磨くと共に、将来社会で通用する人間力の育成を目指し実施しています。外部機関の方と関わりながら実習を行うので、マナーやルールはもちろん、資格に挑戦し自主的に意欲をもって学習に取り組んでいます。1学期は技能検定3級機械作業の合格に向けた取り組み、2学期はヤンマーパワーテクノロジー株式会社から講師として技能検定3級普通旋盤作業の合格に向けた内容を指導していただきます。3学期は3DCAD実習を予定しています。



電気科 外部から講師の先生にお越しいただき、第二種電気工事士の資格取得を目指し講習会を実施しています。1学期は、8回にわたって筆記試験や実技試験の対策を行いました。2学期には、滋賀職業能力開発短期大学校へ出向き、シーケンス制御の講習を受ける予定です。



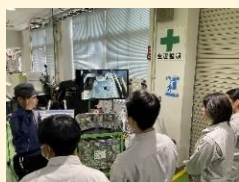
建設科 今年度は、滋賀県教育委員会からの依頼で「(仮称)第二大津合同庁舎の設計にかかわるワークショップ」に参加することになりました。新築される庁舎の設計に関わり、高校生や大学生の案を県民に利用される部屋やホール等の設計に取り入れます。そのために大学生とグループ単位で案をプレゼンし、設計業者や大学研究室や県の建築課が案を取り入れたプランを考えます。2年間このプロジェクトに携わる予定です。

4/18『シン・マイスター・ハイスクール事業』プロGRESS実習(3年)

於:企業・大学校他



今年の機械科プロGRESS実習は生徒8名が企業版デュアルシステム(7社)、5名が滋賀職業能力開発短期大学校での大学版デュアルシステム、7名が滋賀県立高等技術専門校での大学版デュアルシステムに取り組めます。滋賀職業能力開発短期大学校で大学版デュアルシステムの初回授業が行われました。始めにオリエンテーションとして大学校の概要説明を受けました。オリエンテーションの冒頭には滋賀職業能力開発短期大学校の小竹校長先生から将来の技術者を目指す生徒に向けたお言葉をいただきました。その後、電子情報技術科の施設案内やEne-1グランプリ出場車体の説明を受けました。午後からは生産機械技術科の施設案内や取り組まれている総合製作を紹介していただきました。生徒は充実した設備や高い技術力、熱心に指導される先生方から刺激をもらいました。次週から本格的に実習が始まります。各実習先で高度な学びを受け、工業人として一回り成長し、周囲にも良い影響を与えてくれることを期待しています。



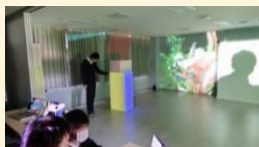
校外学習 (5/2・1年信楽方面・2年名古屋方面・3年大阪方面)

1年生は信楽で陶芸体験をした後自由散策をしました。2年生は名古屋で工場見学をした後、班別自主研修で名古屋城を目指しました。3年生は大阪のなんばグランド花月で観劇し、その後道頓堀周辺を散策しました。仲間との交流を深め、有意義な1日となりました。



5/10 『シン・マイスター・ハイスクール事業』 プロGRESS実習(3年)

於:滋賀短期大学



3年電気科2組のプロGRESS実習では、滋賀短期大学で「プロジェクションマッピング」の体験授業を受けました。プロジェクションマッピングの事例について説明してもらった後、スタジオ内に3台のプロジェクタを自分たちで設置し、投影サイズや角度を調整した後、コンピュータを操作して壁や立体物の面にマッピングする実習を行いました。今後は学校で研究を行い、12月に聖泉大学での投影を目指してコンテンツの企画や制作を進めます。



5/22 『シン・マイスター・ハイスクール事業』 学校設定科目「近江マイスター」(1年) 於:本校体育館



令和6年度の1年生対象の学校設定科目「近江マイスター」の授業が始まりました。初めに青木先生(シン・マイスター・ハイスクールCEO)から「人生100年時代に求められるスキル」をタイトルに所属される会社の概要や「前に踏み出す力(Action)」、「考え抜く力(Thinking)」、「チームで働く力(Teamwork)」の三つの大切にしてほしい力についてのお話がありました。次に橋岡先生(昨年度の産業実務家教員)からの「地元彦根の産業の成り立ち」、「生産を支える組織と技術」などの講話を受けました。これから近江マイスターの授業が本格的に始まります。シン・マイスター・ハイスクール事業となつての最初の学年です。自身の将来のために学習に取り組んでくれることを期待します。



6/3~ 『シン・マイスター・ハイスクール事業』 ブラッシュアップ実習(2年) (仮称)第二大津合同庁舎の設計にかかわるワークショップについて

於:大津市



2年建設科プロGRESS実習班が、「(仮称) 第二大津合同庁舎の設計にかかわるワークショップ」に参加しました。新築される庁舎の設計に関わり、県民に利用される部屋やホール等の設計に高校生や大学生の案を取り入れるため、大学生とグループ単位で案をプレゼンしました。設計業者や大学研究室、県の建築課が案を取り入れたプランを考えます。滋賀県危機管理センター会議室で京都大学の研究生が主導のグループワークが行われ、本校以外にも滋賀県立大学・成安造形大学・立命館大学・安曇川高校の計5校が参加しました。



<生徒の感想>

- ・自分の案と他の人の案の違いに「こんな考えもあるのか」と気づけた。人との意見交換で自分の考えもどんどん膨らむことが面白く、次回のインテリアや家具については、いろんな案を出したいと思った。
- ・県産材を使用する意味が分かった。CO2の削減や温暖化など対応していることを知った。グループでの討議は物事をいつもと違う観点から見ることができた。自分の未熟さが身に染みた一回目です。他の大学生はメモをとったり、向き合う姿勢の違いを感じた。次は自分の成長の場として実行したい。
- ・今回は初めてのワークショップで緊張していたが楽しかった。本格的な設計を大学生の自分が考えたこともないアイデアを聞き勉強になった。発表時は具体的な説明など交えておられることはさすがだと思った。木の材質は重さや横様、温かさや放射線の影響など想定しないと劣化するとわかり、次回は予習して自分のアイデアを出したいと思った。
- ・緊張していたが大学生の方たちがわかりやすく優しく教えてくださったので自分の意見も言え、発表のテーマとして取り上げてもらった。他校の方との違う考えを聞いて共感もでき、いろいろなアイデアを聞けて楽しかった。デザインを考えることが好きになった。次回は今回のことを振り返り次に生かせるように頑張りたい。
- ・びわ湖材が地域経済に大きく貢献することを学んだ。ワークショップでは、いろいろな人が訪れる場所を、触って楽しみ、音で楽しみ、見渡しやすいホールや使用目的によっては仕切りを作るなどデザインとともに機能を考える提案ができた。大学生の方は案も発表のための動きもよく見習うべきことが多くあった。次回も頑張りたい。
- ・大学や違う学校の方と深く建築について話してよい経験になった。自分の意見が受け入れられたときは嬉しかったしその改善点などの案が出て、考えさせられる1日だった。次は今までにないようなアイデアを出したい。
- ・難しすぎて人の案を聞いてばかりになってしまった。木でいろいろな表現ができることも面白かった。いろんな人が来る場所なのでみんなに優しい空間を考えないといけない。
- ・45分で何ができるのか不安だったが、京都大学の人のリーダーシップでよい案ができた。大学は楽しそうでも、この大学生のような力をつけ、一歩でも近づきたいと思った。
- ・なかなか意見が出せずに皆さんに気を使わせてしまったが、発表用のスライド造りに貢献できて少しは役に立ったと思った。次回は発言し良い案が出せるように努力したいと思っている。
- ・子どもが楽しめる空間、軽い材質の木製の遊具や展示台など収納等にもアイデアを出しとまりました。次回もよいアイデアを出せるように予習をしておきたい。

